

明るく元気の出る町

平成5年10月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

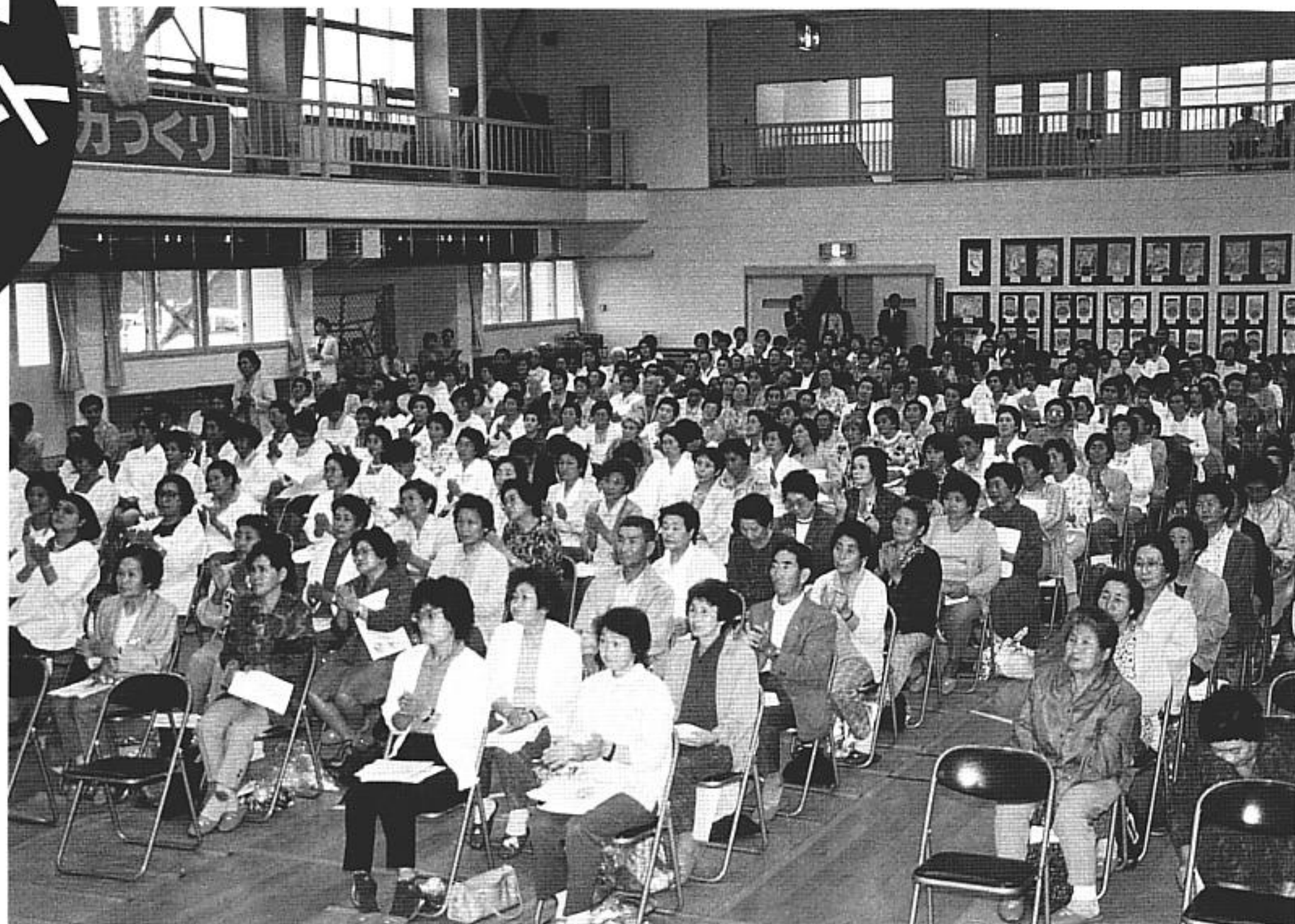
1993

10

NO.463

大切にしたい…母と子の笑顔





第3回東由利町健康推進大会 愛育会創立20周年記念式典

「声かけは町づくりの基本」

第三回東由利町健康推進大会、愛育会創立二十周年記念式典が九月十四日、健康増進センターで行われ、町内外の来賓をはじめ、愛育班員ら約五百人が出席しました。

午前中の記念式典では、無傷病、国民健康保険税完納世帯三世帯に表彰状が、保健予防事業などに功績のあった方々に感謝状が、健康づくりの標語入選者に表彰状がそれぞれ授与されました。引き続き阿部幸悦町長、畠山愛子町愛育会長があいさつし、式典が閉じられました。

午後からの大会では「生き活きとした健康の輪づくり」をテーマに飯田川町、大内町、東由利町の愛育会の代表が体験発表（要旨別掲）。記念講演ではコミユニケーションフォーラム恵泉会理事長で社会教育研究家の滝田和子氏が「高齢化社会を素敵に生きる」と題して講演。この中で滝田氏は「これから高齢化社会では、相手の気持ちを閉

ざさない心遣いが必要。①相手の気持ちになって行動する②心の豊かさを与える③みんなで仲間をつくる、以上三つの事を基本に考えることが大切です。『言葉遣いは心遣い』、『声かけは町づくりの基本』を心掛ければ素敵な高齢化社会が見えてきます」と言葉の大切さを強調。ユーモアたっぷりの講演に会場は終始なごやかな雰囲気につつまれていました。

表彰された方は次のとおりです。

（敬称略）

《無傷病、国民健康保険税完納世帯》

▽柏原健一（新町）▽工藤喜市（中ノ沢）▽小松タキ（下通）

《保健予防事業功労感謝状》

▽小笠原亮子（蔵新田）▽小松幸子（中通）

《体力健康づくり推進功労感謝状》

▽長谷山博昭（上通）

《献血事業功労感謝状》

▽大東精機株式会社（新町）▽小松修一（寺田）

《健康づくり標語入選者》

▽あべたかかず（高瀬小一年）▽えんどうまなぶ（高瀬小二年）▽遠藤信二（高瀬小三年）▽高橋奈津美（八塩小四年）▽長谷山智昭（大琴小五年）▽小松渉（八塩小六年）▽小野恵美子（東中一年）▽阿曾綾子（下郷分校三年）▽畠山栄（袖山）▽小松忠正（下通）



東由利町
愛育会
小松千鶴子
さん

※この事業は、高齢化地域農村活性化モデル事業で行われました。

地域の健康づくり

忙しいのに二年間最後までやれるだ

ろうか、回り番だから仕方がない、どんな形であろうととにかく二年間はやりとおさなければ…という気持ち、それが引き受けたときの正直な気持ちでした。機会あることに仕事をやりくりし、家族の協力を得ながら研修会に積極的に参加するようにしました。研

修会から帰った夜は、家族に夕食の時間を利用して、聞いてきた内容を講師の先生の気分で披露します。その話の中から話題が広がり、夕食の一時がとてにぎやかで明るい雰囲気になります。

東由利町は高齢化比率が他の市町村よりも高く、二三・六歳と聞いております。これからの愛育班活動の訪問や声かけ運動が今まで以上に必要で、また大きく期待されるものと思われま

す。

家族に声をかけるように、何げない一言の声かけが一人暮らしの方々や地域住民の健康や生活の励みになれるよう、今まで以上に力を入れていかなければならないと思います。

「自分の健康は自分の手で」をモットーに私たち主婦の何気ない活動が家庭や地域の健康づくりに役立てるように、微力ながらも頑張っていきたいと思っております。

私が愛育班員になっての最初の仕事
が家庭訪問。最初はぎこちなかった家
庭訪問でしたが、最近では、素直に訪
問に応じてくれるようになり、無事に
家庭訪問を終えたときには、何とも言
えない充実した気持ちになるのです。
これも、今まで各家庭に問題があった
のではなく、訪問する私の心に問題が
あったのではないかと思うようになり
ました。

今、急激に進みつつある高齢化に伴

い、ますます増える核家族と高齢者世
帯を考えると、この愛育班という組
織が一段と重要視され、必要となつて
くるのではないのでしょうか。訪問して、
問題を持ち寄り、生活の知恵を絞りあつ
て、問題を解決していくこの愛育班を
住民に深く理解してもらいたいため、ぜひ、
行政の力でPRしてもらいたい気持ち
でいっぱいです。そして「継続は、力
なり」の言葉に支えられて、何よりも、
気取らず、あせらずに訪問活動を持続



大内町
愛育会
佐々木久美子
さん

ることが、唯一のPRだと思うようにな
りました。

私は今、仕事からも解放されており
ます。体の丈夫なうちに、ボランティア
グループに加わり、世間のためとい
うよりは、むしろ自分の老後のために
奉仕活動をしたと思っております。



飯田川町
愛育会
佐藤レイ子
さん

検診の大切さをPR

今、福祉が叫ばれ、いつでも、どこ
でもサービスが受けられるようになって
きましたが、ともすれば私たち住民
はそれが当たり前のように思い、
自分たちが進んで何かをやるという

自主性がそこなわれつつあるのではな
いでしょうか。自分の健康は自分で
守る。これを基本にしていくべきだと
いつも思います。自分の健康さえも役
場から再三再四にわたる通知をもらい、
それをうとましくて言いながらつっぱ
ねる姿勢……これは一体どうしたもの

かと首をかしげたくなるような思いが
します。私は検診を受けて異常がなかつ
たとき、「今年も一年また健康でくら
せるし、ごはんもおいしく食べられる」
と思います。私は一家の主婦ですから、
家族の健康管理をするのがつとめです。
母は？夫は？子供は？といつも健康か

どうか気掛かりです。家族の健康を気
遣う主婦は、まず自分自身が健康であ
ることが先決です。年に一度の検診を
受け、自分の健康を確認するためにも、
私たち愛育班は一生懸命住民に呼びか
け、年々受診者が増えてまいりました。
今後も引き続き、この役割を遂行して
いきたいと考えております。



行政報告

高冷地で稲作に 大きな被害

デイスサービスセンターの建設は、七月二十日に入札が行われ、八月十九日に現地で起工式が行われました。順調に工事が進められています。

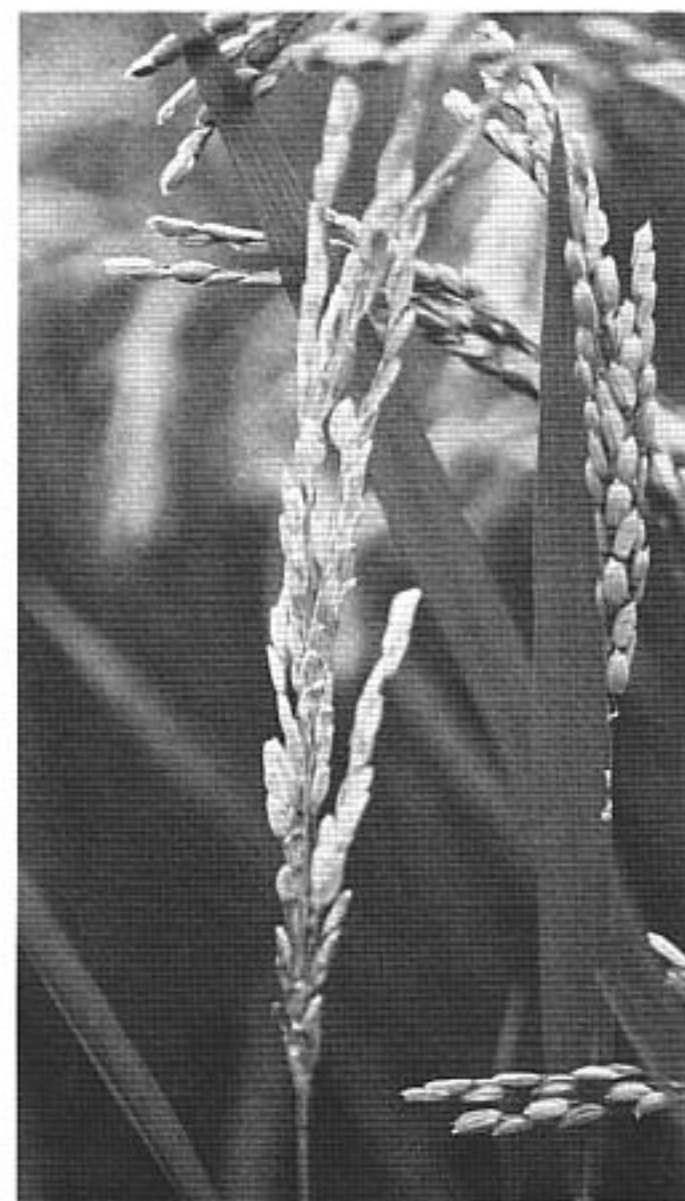
検診結果について申し上げます。基
本検診は対象者数二、七五〇人に対し
て受診者数が二、〇一人、受診率七
三・一割、厄年の人間ドックは対象者
数二、三三人に対して受診者数が一、四八
人、受診率六三・五割、結核検診は対
象者数三、三五〇人に対して受診者数
が二、三六四人、受診率七〇・六割、



行政報告をする阿部町長

大腸ガン検診は対象者
数三、二〇〇人に対し
て受診者数が六一一人、
受診率一九・一割、胃
検診は対象者数二、八
〇〇人に対して受診者
数が八八三人、受診率
三一・五割となっています。
山林や河川への不法
投棄の防止のため、町
内八地区に一名ずつ八
名を環境巡視員として
委嘱しています。

◀大きな被害が予想される稲作



八月十二日に設置した農作物異常気

象対策本部では、イモチ病の徹底防除
を行うため、町で二〇割、JAで一〇
割を補助して八月二十四日から二十七
日にかけて、一斉の薬剤散布を推進し
ました。八月二十五日と九月七日には、
町とJAで成育状況調査を行いました
その結果、二〇〇以上の高冷地では
不稔などが見られ、大きな被害が予想
されます。今後町では関係機関と協議し
ながら全力で支援して行く考えです。

八月二日と十四日に有人ヘリによる
航空防除を行いました。一回目は二二
二畝、二回目は二一五畝を散布し、前
年度より一〇八畝減少しています。

転作の目標面積は二二三畝、これに
対して実施面積は二二三畝となってお
り、達成率一〇四割となっています。
次に畜産関係について申し上げます。
由利家畜市場の状況は八月市場で去勢
牛が一頭平均三四万円（対前月比一万
五千円増）、雌牛が一頭平均二二万円
（対前月比二万一千円増）とわずかに上
がったものの、九月市場では雌牛の一

す。

JAが事業主体になって行われる「肉
用牛生産能力平準化促進事業」は、家
畜改良事業団の候補種雄牛の精液を、
農家の雌牛に交配し、生まれた雄牛の
生産能力の向上と高位平準化のための
調査を行うものです。この事業により
事業団の優良精液が優先的に配分され
ることから、町ではこの事業を支援す
るため、精液の保存容器を購入するた
めの補助金を補正予算に計上していま
す。

林道三ツ森山線 橋梁工事に着工

国道一〇七号奥ヶ沢工区の改良工事
は、奥名免橋（固定アーチ橋一〇一・
五メートル）の工事が行われており、来年十
二月の完成を目指して順調に進められ
ています。また板戸地区にはチェーン
脱着所が十二月二十日までの工期で進
められています。国道三九八号は近日中
に松沢橋の塗装工事が行われます。

頭平均は二二万円でした
が、去勢牛は一頭平均二
八万円と六万円も下がり
ました。

由利畜産共進会は七月
七日、本荘市の由利家畜
市場で行われ、肉用牛十
七頭、乳用牛四頭が出陳
されました。今年は総合
三位の成績になっています。

県道仁賀保矢島館合線の堀切橋から五海保間のルートは、用地測量を実施し、住宅の補償交渉、用地買収が進められています。川原田橋の架替工事は来年度の着工を目指して進められています。神岡坂部横渡線の蔵地区の流雪溝四一〇は十一月末の完成を目指して進められています。櫛淵横渡線の黒沢トンネル内の道路舗装、黒沢側入口の局部改良は八月で完成しています。羽後向田館合線は、三四〇が発注され、工事が進められています。今後二八〇の追加の予定もあります。横手東由利線は水沢・浮蓋間のルートについて、再度現地踏査を行い路線決定すべく日程を検討中です。いずれも早期に全線が開通するよう県に強く要望していきます。

ふるさと林道緊急整備事業三ツ森山線(仮称)は、調査測量、一部用地測



順調に工事が進む道の駅

量を実施し、関係者に説明会を行っています。さらに橋梁の一部着工が行われる予定です。

道の駅は、町の地域活性化拠点施設整備事業と連動しながら、工事が進められています。平成七年度の完成に向けて、グレードの高い駐車場、トイレが整備される予定です。

ポンプアップに成功した温泉は八月十二日に財団法人秋田県分析科学センターから分析結果が報告されました。温度が三九・二度、湧出量毎分六〇リットル、動脈硬化症などに効用があるようです。

可決された主な議案



九月定例議会には、決算認定案八件と議案十一件が上程され、全案件原案可決されました。

主なものは次のとおりです。

教育委員に

畠山卓三氏を再任

任期満了に伴う教育委員に、畠山卓三氏(袖山・五十八歳)を再任することに同意しました。

八月十四日にはお盆帰省客の方と町の人々が交流を深める「ふるさと交流」が行われました。野球の交流は雨で中止になったものの、げんき館でゲートボールが行われました。

下水道整備に 理解と協力を

大平スキー場の再整備については、当初予算に調査費を計上しておりましたが、八月十日に調査報告書の提出がありました。今後はこの報告書をもと

に、再整備のポイント、内容、規模等について、財政状況を考慮して検討していきます。

下水道整備については、早期着工に向けて準備中であり、県の下水道等整備構想が新聞等で公表され、平成十二年度には、県内の下水道普及率を五〇・五まで引き上げるといった内容でした。町としても、下水道整備は多額の費用が伴うことなので、町民の方々の充分なる理解とご協力を得ながら努力して参ります。

一般会計が40億円台に

町の一般会計に一億三千三百十三万九千円を追加し、総額四十億六千五百七十二万三千円としました。主なものは次のとおりです。

▼地域福祉基金積立金六千二百万円▼
デイサービスセンター自動車購入費八百二十三万二千元

地域福祉基金を増額

地域福祉の増進を図るため、民間団体の行う在宅福祉の向上、健康づくり等の事業を支援する地域福祉基金の額を七千八百万円から一億四千万円に引き上げました。

平成4年度各会計決算を認定

歳入四十一億円余り、歳出三十九億円余りの平成四年度一般会計ほか七つ

の特別会計の決算を認定しました。

農村公園設置条例を改正

町農村公園設置条例に館合農村公園を追加しました。これにより、農村公園は大琴、寺田、蔵、館合の四つになりました。

ホームヘルプサービスの 利用者負担額を増額

ホームヘルプサービスを受ける場合の利用者負担額が改正されました。所得税の課税額が八万円以上の世帯の負担額が増額されました。なお、この改正に該当する人は、ごく少数の見込みです。

広域組合規約を改正

本荘由利広域市町村圏組合規約を改正し、由利組合総合病院の支援を追加しました。

一般質問

▶15日間の会期で行われた定例議会



梅津栄一議員①異常気象による稲の不作など農業所得減収の対応は②減反緩和による実績と今後の復田振興の考えは③消防団員の夏服の支給と消防訓練大会の会場をげんき館駐車場に④大琴診療所に常駐の医師を

町長①農作物異常気象対策本部でも議論しており、共済組合にも早期の対応を呼びかけている。町では税の減免などの対策も検討しており、JA等とも協議しながら万全を図りたい②昨年度から復田を行っているが、五十二分の配分に対し、三十七分の復田が行われている。今後も復田を推進していきたい③夏服の支給は団員から強い要望があり、考えている。訓練大会の会場についてはげんき館の駐車場がよいとすれば対応したい④医師を派遣する組合病院では医師の常駐は不可能と言っている。

畑山清一議員①町道アクト線の早期完成を②町道安堵路線の早期着手を望む③和牛の受精卵移植事業の促進を

町長①アクト線は平成三年度から用地買収がはじまり、今年度で橋の上部工と取り付け道路ができ、来年度に完成の予定②全体で三千二百メートルの道路で、地すべり地帯でもあり、町単独の事業では難しい。しばらくは維持工事で対



有鄰館前で行われている消防訓練大会

応したい。③受精卵移植は受胎率が悪いようだが、将来展望もふくめ考えていきたい。
小松慎一議員①現状を踏まえての過疎対策は②梅の里づくりの一層の推進を③海外研修は観光が主ではなく視察を主に④小中学校図書充実を望む⑤湯出野遺跡出土品の保管展示を⑥町づくり子供たちの意見を

町長・教育委員会①人口減少が過疎の定義の一つになっているが、それよりも町に住む人々の充実感を考えた町づくりを行う事が大切と考える②昭和六十三年から梅の苗二千五百本余りを二十四団体に交付しているが、根づいているのが六十割程度と聞いている。今後は専門家の講習会なども考えている③平成三年度から五か年事業で行っており、今年は大内町と合同の農業研修を考えている。海外の異文化に接するだけで研修になると考えているので、長い目で成果を見守りたい④国からの交付金以上の予算で図書購入を支援している⑤保管することができると施設が必要なので、この後の課題になると思う⑥子供たちの意見を取り入れる機会をつくりたい

畑山作喜議員①町指定文化財の指定はいつ頃か②宮の前遺跡の出土品の展示

を③町内の巨木を町の文化財指定してはどうか④高瀬川水系の水質の問題はないか⑤林道の整備を年次計画で
町長・教育委員会①三点ほどに絞って調査、検討しており、今月中には指定したい②現在復元の作業を行っており、出来しだいケースに入れて展示する予定③文化財保護審議会検討していきたい④環境基準はおおむね満たしているが、昔と比べて大変汚れている。今後とも継続して河川の汚染防止や清掃等を働きかけていきたい⑤林業活性化の一つとして林道の整備は大切と考える。森林組合と連携しながらの林道整備事業なども活用してほしい。



元気な子供たちの意見を町政に

小松久徳議員①善徳水源地上流の不純物の撤去を②町内に大型案内看板の設置を

町長①水道水の検査は毎日行っており、安全な水として確保している。水道への影響はないと考える②道の駅も含めて、拠点には整備して行きたい。

総務常任委員長の決算審査報告

問題解決に更なる努力を期待



審査報告する
島山作四郎
総務常務委員長

一般会計決算は、厳しい財政状況下
にありながら無駄のない支出、節減を
基本とした当局の財政運営が黒字に結
びついたものと高く評価され、町民の
要望等に大きく反映されたものと認め
られました。

財政構造については依存財源体質に
変わりなく、低迷を続ける景気動向の
中にもかかわらず健全化に十分配慮が
なされています。これはハード事業を
積極的に取り入れ、なおかつソフト事
業も充実させながら予算規模が順調に
拡大していることは、交付税の伸びと
共に良質債の確保、資金の有利な運用
が相まった成果の表れであり、引き続
き合理化、効率化等に配慮されるよう
期待します。

また、各事業とも一段と充実を見て
いますが、町人口の高齢化や減少に対
応する福祉の充実、農業・商工業の振
興、教育文化の充実策など本町の抱え
る問題は山積している現状であり、将
来を担う青少年が生き生きと働き、喜

びあえる町づくりに向けて更なる努力
を期待申し上げます。

なお、次の項目については更に配慮
検討されるよう申し添えます。

一、地元で用地を手当するという条件
で、これまで設置されてきた防火水槽
の用地の位置付けが不明確である。実
態に合わせて明確にすべきである。

二、「やすらぎ苑」の管理運営につい
ては以前から指摘しているが、未だ改
善のあとが見られず、円滑な管理運営
とは認めがたい。速やかに見直しのう
え、抜本的改善を行うべきである。

三、森林組合の木材加工所は国庫補助
事業で建設され、町でもそれなりの運
営費助成を行っているが、成果は不十
分である。同組合の一層の自助努力を
求めて指導を加えるべきである。

四、県内各家畜市場に比較し由利家畜
市場の子牛価格が著しく低い。早急に
その原因を究明し対策を構ずると共に、

子牛価格安定基金制度による補助金の
見直しなど、制度の改善を関係機関に
要請すべきである。

五、良質米自然乾燥（稲のはき掛け）
奨励補助制度の代替として流通改善対
策費をJAに補助しているが、結果は
必ずしも農家の期待感を満たしてはい
ない。内容を再検討し農家が意欲的に
働けるよう配慮すべきである。

六、先に実施した町管理区域の未認定
小河川の調査結果に基づき、可能箇所
については、速やかに（町管理区域を）
認定すべきである。

町冷害対策本部に改称

町異常気象対策本部（本部長・阿
部幸悦町長）は九月二十二日、町冷
害対策本部に改称しました。冷害対

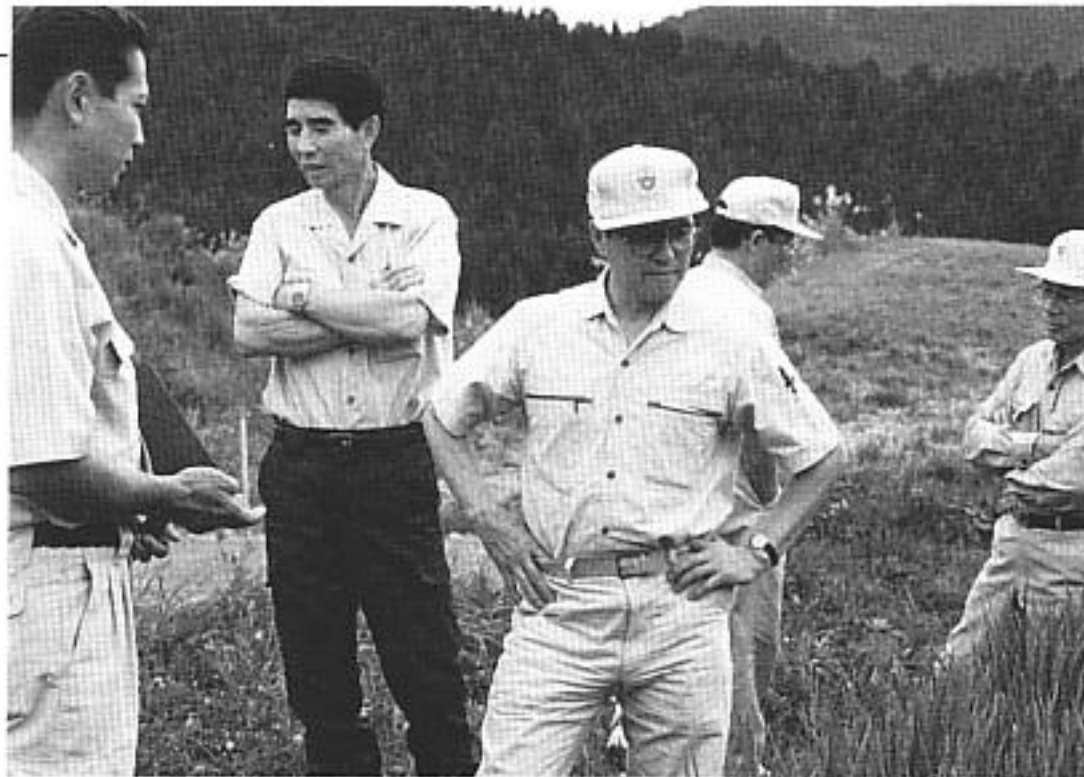
策本部の設置は昭和五十六年以来十二
年ぶりの事です。

八月十二日に町異常気象対策本部を
設置後、数回にわたり現地調査や、イ
モチ病対策として一斉防除を推進して
きました。その結果、二〇〇以上の
高冷地で不稔などの障害が見られ、場
所によっては収穫不能の可能性がある
水田も見られました。また平地でもイ
モチ病の発生が依然として深刻な状態
にあり、例年に比較して大幅な減収は
確実との判断から、冷害対策本部に切
り替えたものです。

利子補給などの具体策

九月二十二日に役場で行われた対
策本部会議には本部員十八人が出席。
冷害対策本部に改称することにつ
いて決議した後、町、JAの担当者
が稲作の作況状況について、不稔や
白ふの状況を中心に地点別、品種別
に説明。これを受けて、今後の対策
について話し合わせ、天災融資法等
による営農資金融通対策▽営農資金
への利子補給対策▽既借入償還金の
返済条件緩和措置▽種子確保対策▽
被害農家への税の減免措置などの
具体策が出されました。

なお、議会では議員提案の「異常
気象による町被害農家救済に関する
決議」を満場一致で決議しました。



現地調査では深刻な表情の関係者

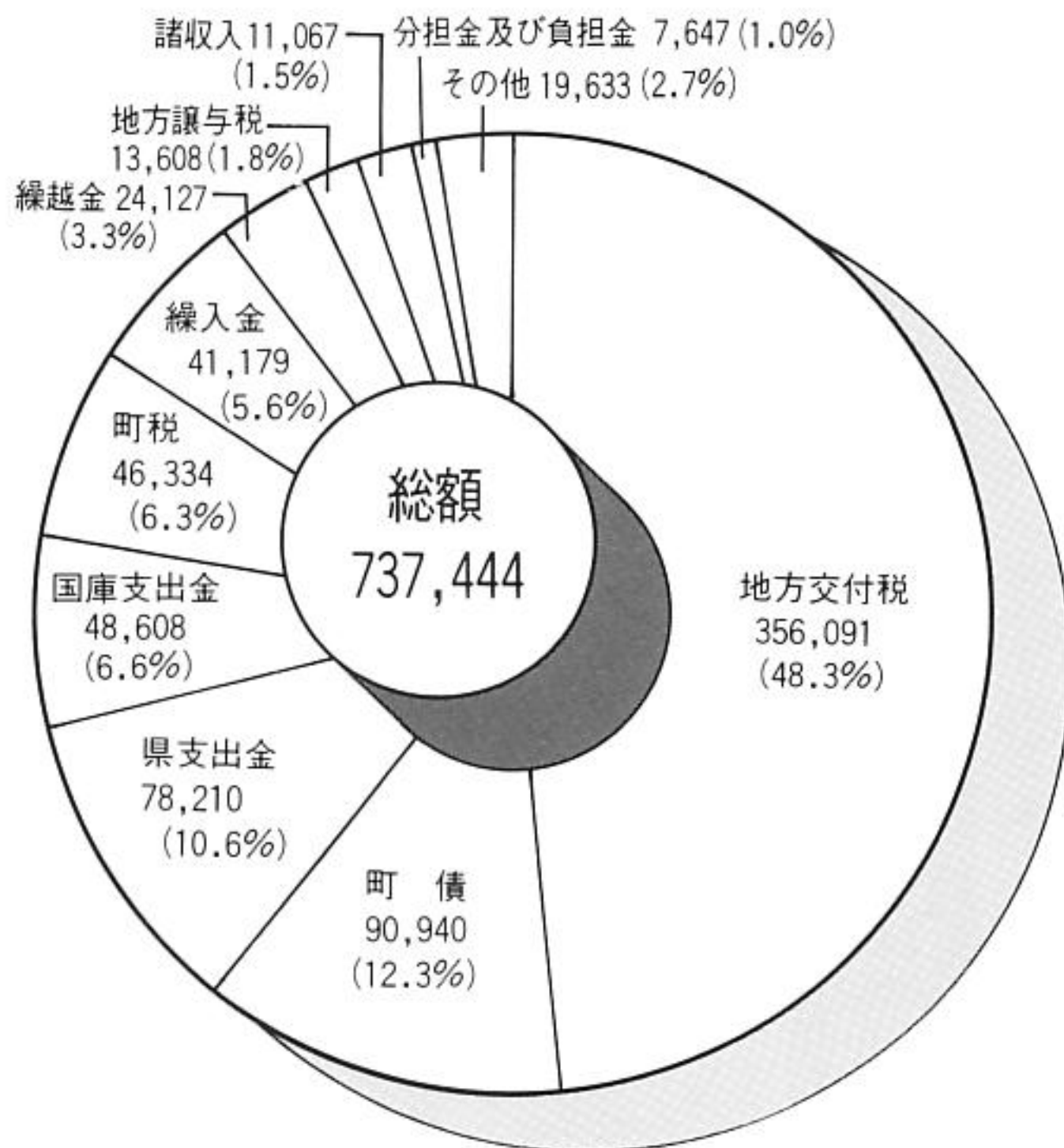
明るく元気の出る町

ひがしゆりのために

平成4年度
一般会計決算

町民1人
当たり 697,038円

歳入 (町民一人当たり) (単位：円)



《収入》

(単位：千円)

項目	平成4年度	平成3年度	比較(増減率)
町税	260,304	254,666	2.2
地方譲与税	76,447	68,545	11.5
利子割交付金	6,849	9,390	△27.1
自動車取得税交付金	34,224	33,355	2.6
地方交付税	2,000,522	1,874,549	6.7
交通安全対策特別交付金	1,300	1,423	△8.6
分担金及び負担金	42,964	44,749	△4.0
使用料及び手数料	8,417	8,791	△4.3
国庫支出金	273,082	311,789	△12.4
県支出金	439,383	393,420	11.7
財産収入	59,509	87,691	△32.1
繰入金	231,345	117,956	96.1
繰越金	135,544	147,664	△8.2
諸収入	62,176	68,820	△9.7
町債	510,900	565,600	△9.7
合計	4,142,966	3,988,408	3.9

《支出》

項目	平成4年度	平成3年度	比率(増減率)
議会費	74,396	73,858	0.7
総務費	589,805	759,291	△22.3
民生費	300,165	212,032	41.6
衛生費	189,838	160,465	18.3
労働費	16,743	7,030	138.2
農林水産業費	981,534	852,184	15.2
商工費	9,216	11,248	△18.1
土木費	560,363	438,020	27.9
消防費	129,704	143,950	△9.9
教育費	440,895	484,432	△9.0
災害復旧費	141,752	227,968	△37.8
公債費	481,504	459,791	4.7
諸支出金	44	22,595	△99.8
合計	3,915,959	3,852,864	1.6

●特別会計の状況

(単位：円)

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	514,657,607	469,380,023	45,277,584
老人保健医療	442,476,669	445,298,480	△2,821,811
黒瀬診療所	2,395,201	2,382,699	12,502
簡易水道	169,947,517	143,877,952	26,069,565
特別養護老人ホーム	240,473,528	172,799,687	67,673,841
大平スキー場	15,962,002	15,893,828	68,174
玉米財産区	2,242,120	1,122,615	1,119,505

生活環境の 一層の整備

平成四年度の決算が九月定例議会にて認定されました。

町づくりの基幹をなす一般会計の歳入は四十一億四千二百九十六万六千円、歳出は三十九億一千五百九十五万九千円、差し引き二億二千七百万円余りとなっています。

歳入では、全体の四十八分を占める地方交付税が六・七割と順調な伸びとなりました。一方歳出では町営住宅、げんき館の建設をはじめ、道路整備が順調に進められ、また、道の駅を中心とする活性化拠点施設整備構想のスタートの年でもあり、「一層の生活環境の整備」が行われました。

●主な建設事業の状況

補助事業

(単位：千円)

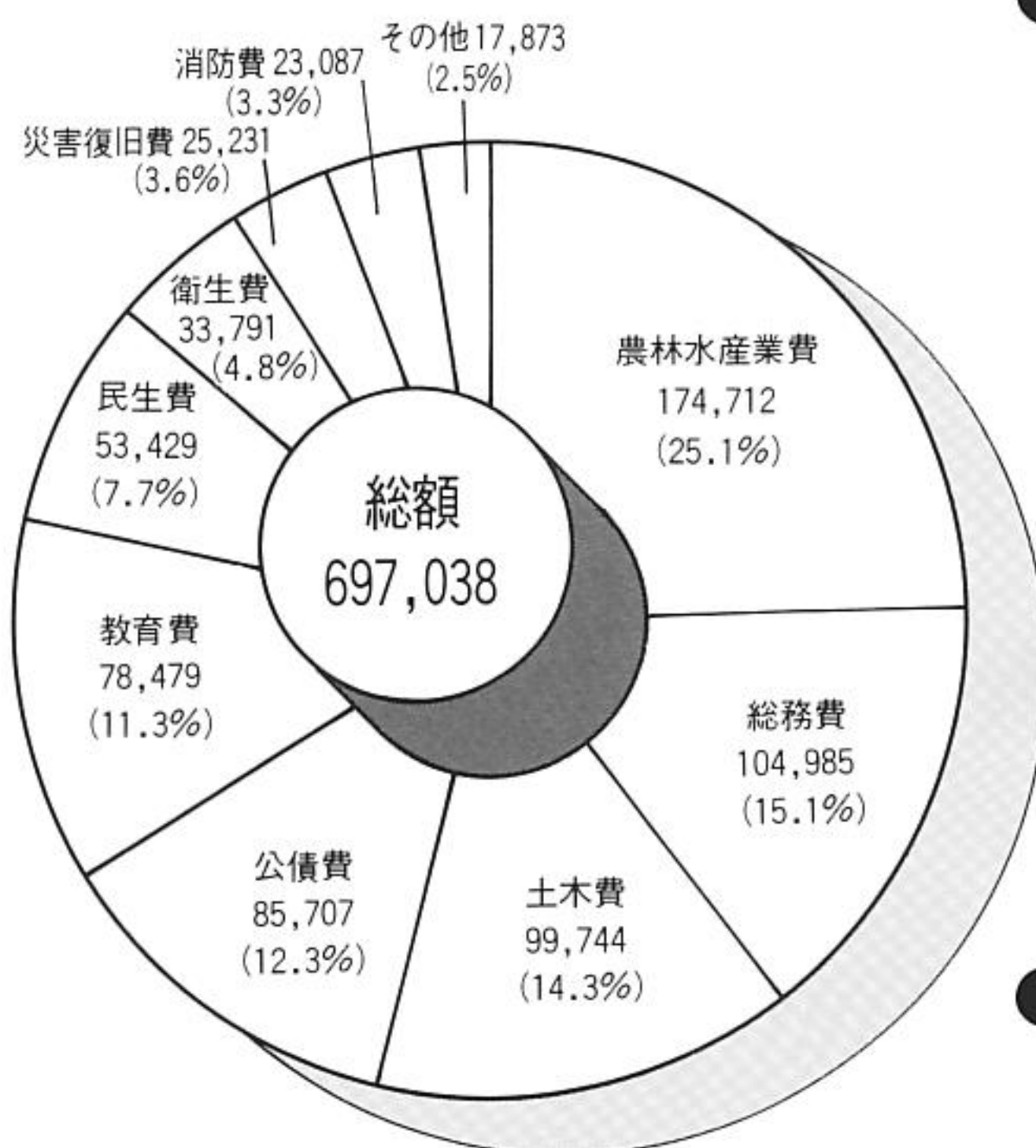
事業名	事業費	事業の概要
団体営農道整備事業 若林Ⅱ期地区	9,494	舗装 L=218m・W=4.0 (5.0)m 法面保護工
若林Ⅱ期地区	10,100	改良 L=280m・W=4.0 (5.0)m
若林Ⅱ期地区(前金国債)	3,121	改良 L=244m・W=4.0 (5.0)m
鞍骨Ⅱ期地区	20,200	改良 L=259m・W=4.0 (5.0)m 舗装 L=361m
杉森地区	8,686	付帯工1式
アクト地区	40,400	橋梁下部工1式、付帯工1式
釜坂地区	5,050	付帯工1式
軽微改良(湯出野・宿)	18,180	改良舗装 L=688m W=3.0 (4.0)m
農村総合整備モデル事業 防火水槽整備	22,382	6基
ザッコ又線改良舗装	32,433	改良 L=350m・舗装 L=337m
向田線舗装	2,995	舗装 L=205m・W=4.0 (5.0)m
仲ノ沢線改良	27,672	改良 L=88m W=4.0 (5.0)m
高屋線改良	30,123	改良 L=350m W=3.0 (4.0)m
農業排水横渡線	788	L=120m
農業排水冷沢線	6,848	L=149m
農業排水舟打場線	3,878	L=294m
集落排水上里線	5,252	L=148m
集落排水館合線	4,989	L=142m
農村公園蔵地区	14,140	A=2,870m ²
須郷田跡見坂線舗装新設事業	98,000	舗装 L=1,329m・W=5.5 (11.0)m
島宮線特定交通安全施設整備事業	49,000	歩道工 L=429m
林業地域総合整備事業 八塩1号線	48,000	改良 L=831m・W=4.0m
松ノ沢線	48,949	改良 L=804m・W=4.0m
寺山線県単林道開設事業	20,000	改良 L=300m・W=4.0m
第三期山村振興事業(荒沢線)	51,157	改良 L=1,025m・W=4.0m
高密路網整備事業寺山線	4,500	開設 L=574m・W=3.6m
公営住宅建設事業	105,445	6戸(第一種住宅)
高齢化地域農村活性化モデル事業	41,873	連絡路・護岸工
消防施設整備事業	10,176	防火水槽4基(須郷、山崎) (面前寺、石高)

単独事業

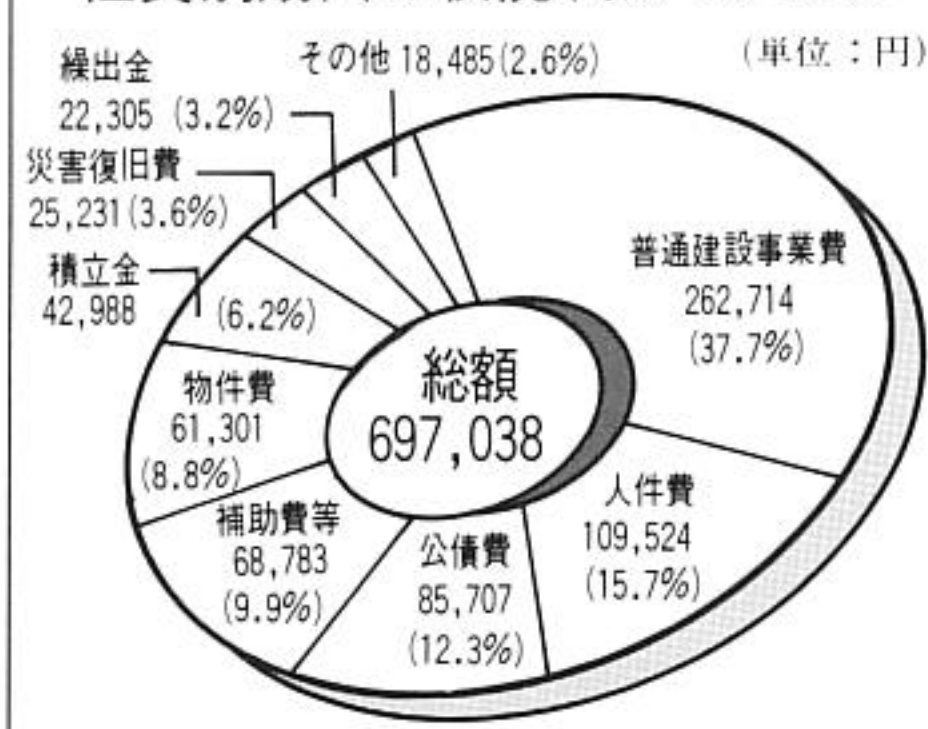
町道大谷地線舗装	5,877	舗装 L=300m・W=5.5 (4.5)m
町道赤倉線改良舗装	7,734	舗装改良 L=183m・W=4.0 (3.0)m
町道八塩線改良舗装	7,779	改良舗装 L=100m・W=5.0 (4.0)m
町道八日町線舗装	4,101	舗装 L=225m・W=4.0 (3.0)m
町道善徳線改良	20,328	改良 L=540m・W=5.0 (4.0)m
町道大下2号線改良	14,659	改良 L=160m・W=3.0 (2.0)m
町道十二ノ前2号線改良	4,935	改良 L=139m・W=3.5 (2.5)m
町道野田4号線改良	6,847	改良 L=133m・W=2.5 (1.5)m
里道整備(7カ所)	14,865	改良、舗装
役場庁舎増設事業	17,573	W造 A=66m ²
大台東屋建設事業	1,236	
温泉掘削事業	1,651	
福祉バス購入事業	24,249	57人乗り1台
勤労者野球場スタンド整備事業	8,515	内野スタンド増設
産業道路整備事業	5,479	
高齢化地域農村活性化モデル事業	12,108	
克雪センター内部改修事業	5,727	
多目的施設外壁塗装	4,223	
ロータリー除雪車購入事業	18,447	歩道用除雪
公営住宅整備事業	75,521	
八塩小グランド整備事業	14,508	
全天候多目的運動広場整備	150,706	鉄骨造 A=1,409.97m ²
八沢木広域農道負担金	4,857	
県営農道鳥台線負担金	6,500	
矢走林道負担金	3,055	



歳出 (町民一人当たり) (単位：円)



性質別歳出の状況 (町民一人当たり)





生たまごが健康の秘訣

梅津ヤスさん(大琴)が百歳に

町一番の長寿者である大琴の梅津ヤスさんが九月五日満百歳を迎えられ、町では長寿祝い金五十万円を贈呈しました。昭和六十二年に町長寿祝い金条例が制定されてから百歳の祝い金が贈呈されたのは梅津さんで三人目です。

梅津さんは明治二十六年九月五日、平鹿郡川西村(現大森町)の生まれ。大正二年、

本町に嫁いできました。体がもともと丈夫でなかったため、若いころは家で近所から頼まれた代筆や裁縫に精をだしたと言います。二年前から寝たきりとなっていますが、意識ははっきりしており、歌を歌うこともあるそうです。

好物は生たまご、プリン、牛乳、トマトジュースなど。長生きの秘訣について梅津さ

んは「好き嫌いがなく腹八分、朝夕の生たまごが秘訣かも…」と話しています。

この日は阿部幸悦町長がお祝いに訪れ、梅津さんの体を気遣いながら祝状を読み上げ、五十万円を贈呈しました。

九月十七日には、阿部八男県出納長も訪れ、内閣総理大臣か



▶阿部町長が梅津さんに祝状を贈呈

らの祝状と県知事からの銀杯などを贈呈しました。

♡愛の献血

ありがとうございました。
九月十七日 (敬称略)

四〇〇cc.

長谷山節男

小野 實

阿部 豪

遠藤 卓哉

佐藤 芳雄

小松 正義

早藤 素史

二〇〇cc.

高橋美和子

阿部 弘章

石渡 博澄

遠藤 晃

小松 信記

工藤 良

三浦 雅弘

阿部 長悦

高橋美和子

小野 博子

畠山 紀悦

小笠原豊和

佐藤 博敦

小野 源一

佐々木 誠

横山 昌喜

猪股 友子

阿部由起子

渡辺 サキ

鈴木富士子

石橋万里子

小野 里子

小野 泰好

三浦 晃司

佐藤 勝俊

大庭 司

佐藤 幸誠

阿部 隆幸

小松田貴雄

横山 和幸

遠藤由美子

成分献血(血液中の血小板

血漿だけを献血し、赤血球

などは体内に返す献血)

猪股 寿和

畠山 守

畑山千江子

守屋富士子

八嶋 俊子

嶽石 愛子

大日向静子

畠山 伸

小野 弘喜

佐藤 直人

小玉 雅之

高橋 義和

阿部 等

鈴木 政也

横山 亨

伊東 弘子

大内町と合同で今月出発

町民海外研修「フライト'93」

農業視察で三カ国を訪問

今年で三回目を数える町民海外研修は、大内町と合同で今月二十九日に出発、十一月八日まで十日間の日程で行われ、デンマーク、ドイツ、フランスの三カ国を訪問します。

研修生は本町から公募の結果選考された七人と町職員三人の十人、大内町から六人の計十六人となっています。今回の研修は「農業」を主

に研修することにしており、デンマークの施設園芸や国立農業試験場などを視察することになっています。一行は今月中旬に結団式、事前研修を行う予定です。

1歳6ヵ月児健診より

菊地美樹ちゃん
(宇戸坂・賢悦さん長女)



高橋麻美ちゃん
(五海保・正さん二女)



小松 慧斗くん
(下通・敏貴さん長男)



浅田明美ちゃん
(大琴・誠さん長女)



児童手当 受給には、まず請求を

児童を養育する人に手当を支給することにより、家庭生活の安定と児童の健全な育成を目的に児童手当制度があります。

児童手当の支給は、認定請求の翌月分からとなっておりますが、受給資格があっても請求しないと受けられませんのでご注意ください。

☆特別給付とは……
児童手当が支給されない人(原生年金に加入している人や公務員に限る)で、その人の前年の収入が一定額に満たない場合は、特別給付が支給

住吉地区町政座談会 9月3日・八塩館 約30人が参加

- 問 県道仁賀保矢島館合線時雨山地内の舗装、縁石の補修を
- 答 県道整備を、県にお願ひしていく
- 問 時雨山地内の墓地への道路の舗装を
- 答 農道なので、産業道路事業で行えば
- 労力提供程度で完成するのではないか
- 問 住吉・地下ノ沢間、黒淵・向田間の県道が暗いので街灯の設置を
- 答 賛成。なお、八塩整備は今後委員会などを設けて、意見を聞いてみたい。
- 問 八塩一号線沿いに、地域グループでの植樹を認めてほしい
- 答 賛成。なお、八塩整備は通常の街灯であれば、町が三分の一を補助して設置している。大型照明は田代・黒淵間は二カ所の設置を県に要望している
- 問 沢々の道路補修に古いU字溝の払い下げを
- 答 個人施設でない限り、要望に応えたい

こんなとき、こんな手続きを

届出を必要とするとき	届出の種類
新たに受給資格が生じたとき	児童手当認定請求書
毎年6月(全ての受給者)	児童手当現況届
他の市区町村に住所が変わったとき	児童手当受給事由消滅届 児童手当認定請求書
出生などにより支給対象となる児童が増えたとき	児童手当額改定請求書
年齢要件などにより支給対象となる児童が減ったとき	児童手当額改定届
年齢要件などにより支給対象となる児童がいなくなったとき	児童手当受給事由消滅届
特別給付の受給者が退職したとき	児童手当受給事由消滅届
受給者が公務員となったとき	児童手当受給事由消滅届 児童手当認定請求書
同じ市区町村の中で住所が変わったとき	住所変更届
養育している児童の住所が変わったとき	住所変更届
受給者又は養育している児童の名前が変わったとき	氏名変更届

金額は一子、二子が月額五

千円、三子以降が月額一万円です。

走る、投げる、跳ぶ 笑顔 いっぱいの1日 第25回町民スポーツ祭

“勝負”より“楽しく”へ

第二十五回町民スポーツ祭が八月二十九日、町民グラウンドで行われ、総合で須郷・大吹川自治会が初優勝を飾りました。今年からは、勝ち負けよりもみんなが楽しい運動会に―と従来までの町民運動会から、“町民スポーツ祭”と名称を変えて行われました。

今回は自治会対抗四種目のうち、スウェーデンリレーに変わり、ゲートボールをしながらリレーする「ゲートボールレース」が登場しました。台風や長雨のため今一つパツとしなかった日が続いていただけに、久しぶりの青空に参加者も楽しい一日を過ごしていました。

久しぶりの青空にみんなハッスル



総合優勝は須郷・大吹川自治会

▼スポーツ祭の運営は、体育指導委員の方々におまかせ！毎年ご難儀をおかけします。



がんばったもんね！

今年の入賞チーム

(敬称略)

▽総合

①須郷・大吹川②小倉③上里

▽自治会対抗

・ゲートボールレース

①祝沢・茂沢②横小路③袖山

・ちぐはぐドリブル

①大吹川・須郷②蔵③石高

・軽く2連発

①小倉②上通③新町

・クリン作戦

①新処②小倉③大吹川・須郷

▽分館対抗四〇〇リレー

・男子

①住吉②宿③老方

・女子

①蔵②袖山③宿

▽親子三代リレー

①長谷山 光、肇、洋一(石高)

②柴田 浩、和尋、三紀子(須郷田)

③長沼 久男、久利、淳(新町)



▶おたのしみ抽選会、当たった人はいいなー！

町長

町長 阿部 幸悦

日記

町民スポーツ祭

今年の夏は、一日の真夏日もなく終わりました。こんな年は記憶にありません。世界的に異常気象がおきていますが、日本もそれから逃れられず台風十一号の鹿児島の大被害をはじめ大変なものがありました。引き続いての台風十三号は、日本列島を縦断する戦後最大級のもので、秋田県もその暴風雨圏に巻き込まれるとのテレビ情報には緊張しました。直撃しないとの情報にはホッとしたものです。しかし、冷夏と長雨の影響は大変なものがありま

す。対策をしっかりとしていかなばと緊張しています。八月二十九日には恒例の町民運動会がありました。名称も今までの町民運動会から町民スポーツ祭に変わりました。これは全力疾走する競技、特に自治会対抗の競技に毎年ケガ人がでていたことが変更理由の一つにあげられます。自治会対抗となりますとそれぞれの名誉をかけたの競技になりますから、選手の方々も大変張り切っていました。特に中年の方々がそうです。接戦になりますと特に頑張りすぎてしまいます。気持ち少しも年をとっていません。しかし、車利社会のため

運動不足は否めません。そして年齢です。残念ながら体がついていきません。パンクしてしまうのです。私もそういう年ですからよくわかるのです。せっかくの楽しい運動会がだいなしになってしまいます。頑張ってもケガのない大会にという思いがありました。当日は前日の雨がちょうどよい湿りになって最高のコンディションでありました。心配したケガ人もなく、例年にない人出で盛り上がりしました。自治会対抗は須郷・大吹川自治会の初優勝で終わりました。おめでとうございました。



▲ゲートボールレースは、ボールが止まってから打たないと反則！「止まってから打てー」の声があちこちで聞かれました

▼昼休みを利用したの居合い道緊張の一瞬



▶毎年人気のゲタとばし今年は前に飛ばす人が増えました



▼大きなふうせんもらったもん！



▼銃剣道は気合いが勝負



▶盛り上がった分館対抗男子四百メートルリレー。老方分館の第一走者はアレンさん。



▶デッドヒートの分館対抗女子四百メートルリレー。おつかれさまでした

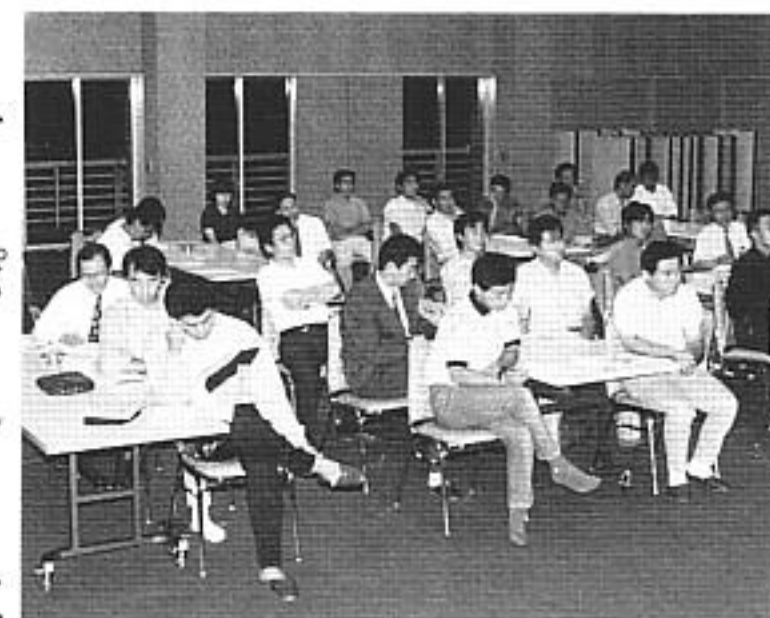
ふくはな5の9 県共成牛の部で優勝

第八十二回秋田県畜産共進会が九月十一日から十三日まで、河辺町の県中央家畜市場で行われ、土場沢の畑山藤作さん飼育の「ふくはな5の9」が黒毛和種成牛の部で優等賞を受賞しました。また二部門に分かれている成牛の部の優等賞牛を比較した結果、「ふくはな5の9」がトップに選ばれ、見事優勝旗を手にしました。

この共進会には、本町から郡畜産共進会で上位入賞を果たした黒毛和種三頭、ホルスタイン種一頭の計四頭が出陳されました。優等賞を受賞した畑山さんは「郡畜産共進会では一等だったが、まさか県畜産共進会で優等賞をとれるとは思ってもいなかった」と驚きながらも、喜びをかみしめていました。



優勝旗を受けとる畑山さん
(写真・右)



真剣に聞き入る参加者

キーポイント きちがいの育成

「おもしろくても大丈夫」をテーマに、平成五年度青年ふるさとづくりリーダー研修が九月十一、十二日の両日、有鄰館、八塩いこいの森で行われました。

この研修は県青年の家が主催して行われたもので、約四十人が参加。開会行事に続いて秋田ふるさと塾主宰の佐々木三知夫氏が「おもしろい話が地域を変える」と題して講演。この中で佐々木氏は「何か事を成すには、大もの會長が一人と氣違いが一人いればできる」と人づくりを強調しました。その後参加者が三つのグループに分かれて活発な意見交換を行いました。

翌日は八塩いこいの森を会場に湖上遊覧やマップフリーディングなどで楽しみました。

カラオケで 地域の結束を

宿にカラオケ同好会

町のコミュニティ助成事業でカラオケを整備した宿分館では、カラオケで地域の結束を図ろうと「高瀬館カラオケ同好会（小野清幸会長、会員四五名）」を八月十七日に設立、九月十四日には総会が高瀬館で行われました。

会では浅田竹廣副会長が事業計画、予算案、規約などの説明を行い、月に二回定例会を行うことなどを全会一致で決定しました。

同好会の設立にあたって小野会長は「地域を盛り上げるためにはみんなが集まる必要がある。カラオケを通して地域内はもちろんいろいろな地域の人と交流を深めていきたい」と話しています。



約30人が参加した総会



東由利
トピックス

由利地区の青年が ゲームを通して交流

「クロッシングハート イ
ン 東由利」をテーマに本荘
由利広域青年交流会が九月十
九日、八塩いこいの森を会場
に行われました。

会場の八塩いこいの森には
由利地区の若者約百五十人が
集合。十六のグループに分か
れて、クイズ形式による「ウ
ォークラリー」、縄を二人で回
し、その中を六人が跳ぶ「み
んなでジャンプ」などで交流
を深めました。昼食は由利牛
のバーベキューが食べ放題。
ビールを飲みながらとあつて、
大いに盛り上がりました。

前日までの雨がうそのよう
な好天のもと、若者たちは思
う存分交流を深めていました。



由利地区の若者150人が集合



2回目の花が咲いた
ひめリンゴ

ひめリンゴにも 冷夏の影響？

全国的な冷夏となった今年
は、稲の被害が大きく報道さ
れ、本町も深刻な状況となっ
ています。

この冷夏の影響はいろいろ
な作物に変化を及ぼしていま
す。下通の高橋慶一さん宅で
は、実をつけたひめリンゴに
花が咲いています。そのせい
か実は例年より少なめ、赤く
なる時期も遅れているという
ことです。

第七回産業文化祭は十
一月六・七日に行われま
す。会場は、健康増進セ
ンター、有隣館、朋楽荘
です。

優良肥育牛として 由利町から三戸が表彰

本町産の三頭の牛が、由利
町のオーナーシステムにより
肥育され、出荷したところ、
最高ランクのA-5の格付け
をされたとして、由利町から
三戸の農家が表彰されました。
平成二年度から由利町で行
っている和牛のオーナーシス
テムでは現在九十六頭の牛が
肥育されており、月平均二頭
が出荷されています。今回の
表彰は昨年八月から今年の七
月までに出荷された牛のうち
A-5に格付けされた牛九頭
を表彰、うち三頭が本町産の
牛でした。

表彰された方は次のとおり
です。(敬称略)

- ▽下田三太郎(久保)
- ▽故畑山 勲(下吹)
- ▽佐藤 秀也(向田)



民謡ファン 200人でにぎわう

町民謡同好会(遠藤真吉会
長、会員三十人)の民謡発表
会が九月十八日、健康増進セ
ンターで行われ、民謡ファン
二百人余りにぎわいました。
発表会では同好会員の唄や
踊りをはじめ、名古屋市遠友
会、大内町の民謡愛好家、地
元の八塩芸能クラブが応援に
かけつけ、民謡一色となった
会場は、盛大な拍手につつま
れていました。

同好会の遠藤会長は「同好
会員の発表の機会として行っ
ている。民謡ファンの方々に
少しでも楽しんでもらえれば
うれしい」と話しています。



大にぎわいの発表会

HIGASHIYURI
東由利の話題
TOPICS



町の宝もの

養田館

17

寺田部落の東方標高約二二〇メートルの山腹にあります。

館は二段に整地され、後ろに二重(幅約二層・深さ一層・長さ約百メートル)前に一重の空濠跡(かぼり)があつて、館は永禄六年(一五六三)秋に築かれたものといわれ、中心台地に明治四〇年建立の石碑(小笠原神社と刻まれている)があります。

この頃玉米殿には男子が生まれず、山田(湯沢市)から聲をもらったが、生まれたことによりお家騒動に発展し、永禄六年若殿を山田から連れ帰って養

田館に籠もり、正月一五・一六の両日にわたって戦い、玉米勢は山田勢をはさみ撃ちして大勝した由緒ある館です。



養田館跡の碑(高さ約1m)

何をくくっているのか?

昭和二十一年から食品製造一筋の佐藤食品株式会社では、約三十人の従業員が働いています。

市販用、業務用の冷凍食品やスイカ糖、ぶどうジャムなどの常温食品、さらに今年からはスーパ一の惣菜を製造しています。

佐藤達男社長は「おいしくてきれいな物をつくるのが会社のモットー。地元でとれる素材を生かした製品を作っ

冷凍食品を製造

佐藤食品株式会社



ていき
たい
と話し
ていま
す。

愛育班から

おかあさん登場

小野貞子さん(下小路)



美容師をしているため、外に出る機会が少なかった私にとって、愛育班はいろいろな人と触れ合えるので楽しみの一つです。チラシや検診のお知らせなどのため各世帯を訪問すると、いろいろな話がで、時間が経つのも忘れて話し込んでしまいます。

九月十四日の愛育会二十周年記念式典の講演はとても勉強になりました。家の人にも「目標を持つことが大切だよ。ボケ防止につながるよ」と講演の内容を話してあげました。

愛育班活動はいろいろな事が勉強になるので、働く人が増えた今日は、平日の日中ばかりでなく、夜とか、ほとんどの人が休みになる第三日曜日なども有効に利用して、健康の大切さをみんなに勉強した方がよいのではないかと考えています。

二年間の任期の中で何か一つは身につけ、健康について考えてみたいと思ひ頑張っています。

「第2回高橋宏幸賞」

作品募集

締切は11月25日

町では第二回高橋宏幸賞・童話(感想文・感想画)秋田県コンクールの作品を募集しています。

町功労者で絵本作家の高橋宏幸先生にちなんで昨年から行われているこのコンクールでは、県内の幼児(四歳以上)と小学生を対象に童話を読んだ感想文と感想画を募集し、各部門ごとに最優秀一点、優秀五点、佳作七点を選定するものです。

昨年のコンクールでは九百二十五点の応募がありました。

応募締切りは十一月二十五日(当日消印有効)。表彰式は十二月十九日を予定しています。

詳しくは、町教育委員会(☎六九二二一〇)におたずねください。

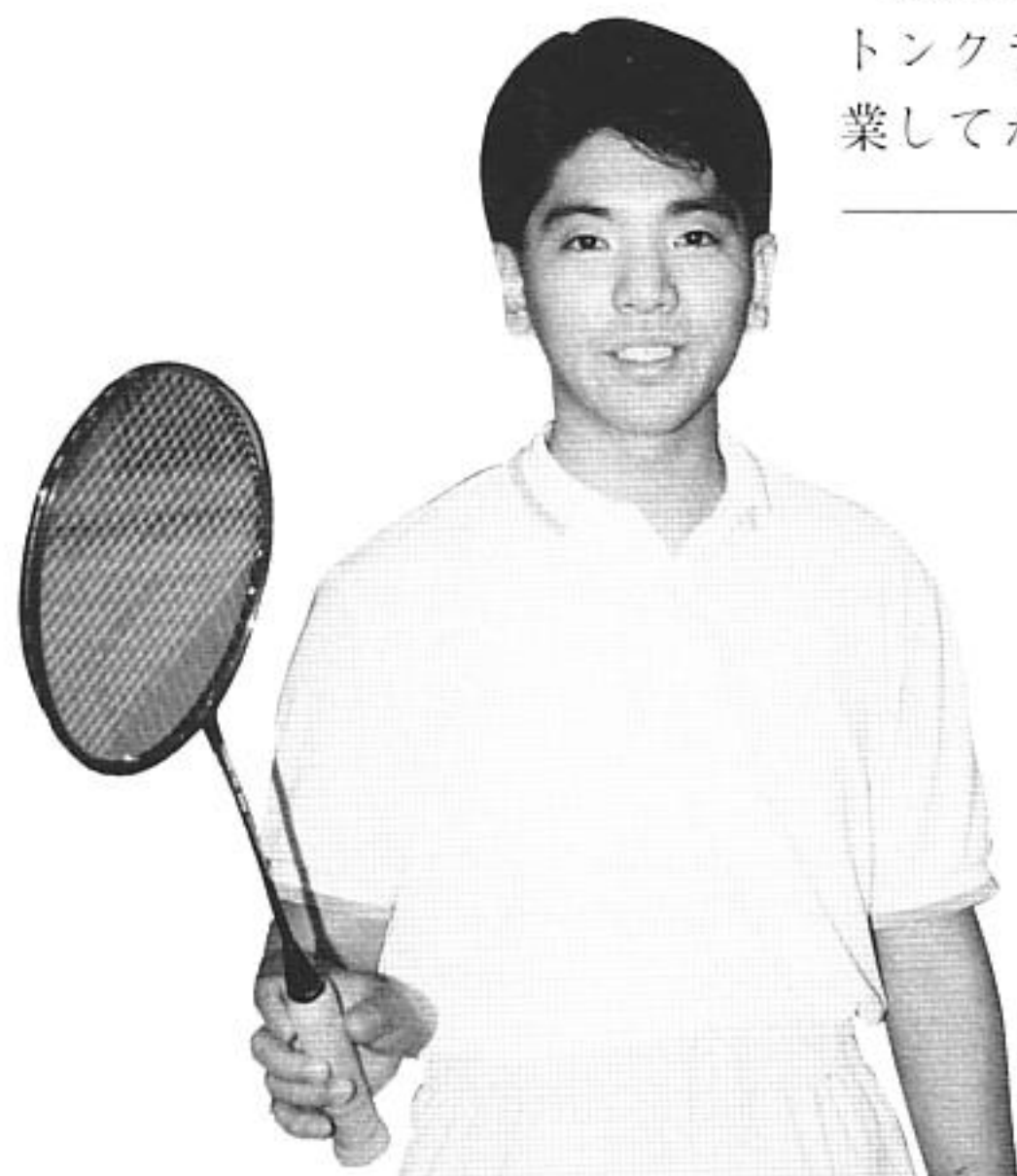


昨年の小学生感想画の部最優秀作品

若い力が 明日の東由利のエネルギー

宇戸坂・高橋勝義さん

10月10日は体育の日。学校の事務職員のかたわら、バドミントンクラブの代表をしている高橋勝義さん(26歳)。「高校を卒業してからスポーツと出会った」という彼にインタビュー。



スポーツとの出会いは “感動”からはじまる

高校時代は「写真部」だったという彼とスポーツとの出会いは二十歳の時。ふとしたことから健康増進センターに行く機会があり、そこでたまたま練習していたのがバドミントンクラブ。「ものすごい速さで飛んでくるシャトルコックを簡単に打ち返していました。そのとき『バドミントンはすごい』と感動しました」と当時を振り返ります。「これは自分にはできない」とその場を後

にしたものの、友人からの強い勧めもあってバドミントンクラブに入会。先輩たちの温かい指導もあり、現在は代表を務めています。

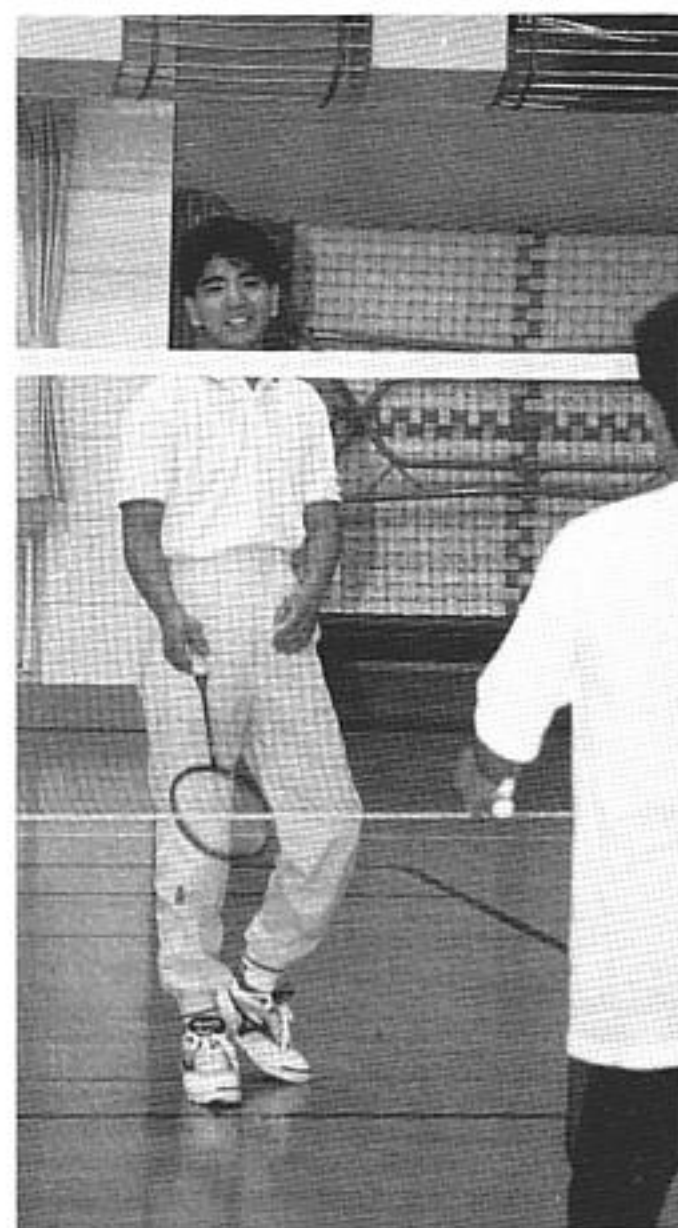
「バドミントンの魅力は何と言っても駆け引き」と語る勝義さん。てっきり「魅力はス

マッシュ」と答えると思った私に、彼は「相手の裏をかくて勝負をかけることがある。例えばダッシュしてきた時に後ろに打つとか。決まったときは最高の気分」と動作を交えて話してくれました。

今の課題は “カベ”を破る

現在のクラブ員は十人余り。下郷分校の一、二年生もたまに練習に参加、「まだ始めたばかりの生徒が多く、鍛えてあげたいけど、教え方が分からず困っている」と指導力の不足を強調しています。また「どのスポーツにも言えることかもしれない」と前置きしながら、「ある一定のレベルに達した際に運動量も決まってしまう、カベにぶつかってしまう。ちょうど今がその時期みたいで……」とカベを破る難しさ、もどかしさみたいなものを感じました。十月十日には第六回東由利町バドミ

バドミントンの練習はいつも楽しい



ントン大会を行う予定。「参加する人も決まって来て、レベルも固まって来て、行き詰まりを感じる。でも何か新しい企画も考えたい」と抱負を話しています。

スポーツの 大切さを実感

仕事が学校事務職員という事もあり、子供たちとの付き合いも豊富。子供、先生、父兄、そして市町村の職員とほかの公務員では経験できない人々との交流に「いろいろな人との交流は大変なことも多いが、やり甲斐もある」と話す勝義さん。そして、「全校生徒七十人の学校から四百人の学校へ異動したのが今年。運動クラブの壮行会では前の学校になかった盛り上がりにつづき。子供のころからスポーツに親しむことはとても大切なことと、最近実感している」と楽しい毎日を振り返っていました。



「食べ物の好き嫌いもなく何でも食べます。三輪車遊びが何より楽しみのよう」とひいおばあさんのマサヨさん。

わが家のアイドル☆
★
★

葎沢・佐藤 たいが 大河くん

(H3・1・23生まれ)
幸輝さんと昌子さんの二男

の二男

東由利——ニュースダイジェスト⑦

あめの日・あめ時

東由利水道が完成

県内最大の簡易水道

昭和四十九年八月十二日、ボツメキを水源とする東由利水道の完工式が行われました。総事業費は一億四千二百五十二万円。給水人口が二千六百四十人、給水量が一日七百九リと、当時としては県内最大規模の簡易水道でした。

係者が工事の完成を祝いました。この水道の完成により給水人口は全町の約七割に達し、施設の維持管理や未布設地域の問題解決が今後の課題となっていたようです。

当時の一般会計当初予算(約六億四千万円)を考えると、この事業は町のビッグプロジェクトだった事がうかがえます。

当日はボツメキ水源地の「ぼつめきの水有難や」と書かれた記念碑と台山浄水場の工事概要が書かれた記念碑の除幕を行いました。引き続き田代福祉館では完工式が行われ、関



東由利の文芸

せせらぎ句会(八月句会)

- ◆白団扇口元かくす内緒ごと
- ◆稲の花見廻る鉢巻締め直す
- ◆稲の花むらがる鳥もひかえがち
- ◆今朝も又昨日とくらべる稲の花
- ◆腰団扇今日も無事なり散歩道

- 遠藤トミ子(小倉)
- 遠藤トミ子(小倉)
- 小野 貞子(蔵新田)
- 小松 徳蔵(湯出野)
- 工藤 武雄(山崎)



小野和行さん(23歳)

下吹・縫製業

「女性ばかりの職場で、みなさんやさしくしてくれるので楽しく仕事しています」と話す彼の主な仕事は、得意先の内職まわり。

野球、テニス、バドミントンなどのスポーツのほか、最近

海釣りに凝っていて、本荘、西目、象潟の海に行くこともあるそうです。「なかなか大きいの釣れなくて」と渋い表情。「今一番してみたいことは」と尋ねると「遠くに旅行しながら、温泉めぐりでもしてみたい」との事。

犬を一匹、猫を三匹飼っている動物好きの彼は「自分はんびりした性格。暇な人は遊びに来てください」と話しています。次は、宿の小野弘通くんにリレーします。

- ◆釣葱日毎に葉色濃き軒端
- ◆釣葱階下二段に吊るしけり
- ◆背のびして母が水やる釣葱
- ◆そよ風にやわき日を受け稲の花
- ◆出来上る花嫁祖母の洪団扇
- ◆釣葱留守居の家の庭先に
- ◆団扇背に手振りよく似た母娘
- ◆稲の花峽の山家を明るくす
- ◆腰団扇色とりどりに輪の中へ
- ◆寝つくまで子守唄のせ団扇風

- 小松順之助(中通)
- 小松慶治郎(高戸屋)
- 佐藤 正義(湯出野)
- 菊地 常作(湯出野)
- 小松 女沙(下小路)
- 小笠原トミ(蔵新田)
- 小笠原亮子(蔵新田)
- 阿部 澄子(蔵)
- 鈴木 要(沼)
- 高橋ヒデ子(横渡)

笑顔の子供たち



小野正樹くん

ぼくのゆめはとう芸家になることです。とう芸家になって、きれいでじょうぶなつぼを作ってみたいと思っています。ぼくはねん土でいろいろな物を作るのが好きで、ぼくの作った物をみんながうまいと言ってくれます。また美術展で入賞したこともあります。その時からぜったいとう芸家になるぞと心に決めました。つぼを作る仕事はともたいてんだと思っています。でも、これから努力をして、いつづぼができるようがんばりたいと思います。



のぞみ 遠藤希美さん

わたしのゆめは画家になることです。

わたしが画家になろうと思っただきっかけはある有名な画家の絵を見て、わたしもこんなにい絵を書けたらなと思ったからです。それから絵にきょうみをもち、毎日家に帰るとすぐ絵を書いていきます。父が絵が上手なので、時々教えてもらっています。これから図工の時間などは色のぬり方をもっともっと勉強し、人に絵を教えられたいくらい

未来の夢は？

(大琴小四年生)



木嶋弘幸くん

有名な画家になれるようがんばります。

ぼくのゆめはいい画家になることです。ぼくが一番好きなのは、かいじゅうえい画で、小さいころから数々のえい画を見ています。今でもかいじゅうえい画のビデオをためています。ぼくは、かいじゅうえい画を作るためにはもっとかいじゅうのことを知らなければいけないと思います、しらべることになりました。

ぼくは大人になったら五十本ほどのえい画を作るのが目標です。今、一本だけえい画を作りかけています。ぜったい子どもにも大人にも楽しめるえい画を作りたいです。

ハイスクール○日記

高校生活も半年を過ぎて



下郷分校1年 遠藤 力くん

半年間過ごしてみても本当に時が流れるのは早いと思います。

た。ついこの前入学したばかりだと思っていたら、もう半年も経っていたという感じです。

半年間の高校生活では、運動会や文化祭をはじめとしていろいろな行事や出来事がたくさんありました。その中で僕が一番心に残っているのは、夏休みに入つてすぐに行われたボランティアスクールです。僕はそこでいろいろな事を覚え、多くの勉強をしました。それは、ひと口では言い表せないものですが、強

いて言えば、人と人とのふれあいの大切さだとも思いやりの心とかいったものでしょうか。

部活動では、今野球部に所属しています。一年生九人、二年生六人、計十五人の野球部です。ちよつと人が少ないけれども、練習はきちんとやっていますし、雰囲気がとてもよいので本当に充実した部活動です。クラスの方では、入った頃は皆授業中うるさかったけど、近頃は一人一人が落ち着いてきたような気がします。まだ半年しか経っていないので今後どうなるのか分かりませんが、楽しく高校生活を送って行きたいと思っています。

みどり保育園



右からまさのりくん、まさやくん、ひとみちゃん



さとうまさのり (荻沢)

ぼくの絵 わたしの絵

うんどうかい



たかはしまさや (館合新田)



さのひとみ (館合新田)

10月→データ東由利

〈8 / 1 ~ 8 / 30〉

人口

()は前月比

■男	2,727人(△2)
■女	2,867人(2)
■計	5,594人(ー)
■世帯数	1,421戸(△1)

()は1月からの累計

●出生	3人(26)	●死亡	4人(48)
●転入	5人(63)	●転出	4人(117)

■火災出動	0件(3)
■救急出動	8件(62)
■交通事故	1件(3)
●死者	0人(0)
●傷者	1人(3)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	0人(3)

10月の行事

2	司法書士会法律相談 (10:00~15:00朋楽荘)
5	青少年劇場(14:00 東中体育館)
14	三ツ森山林道起工式 (9:40 現地)
17	第33回奥羽横断駅伝
18	行政相談(13:00~16:00 八塩館)
22	行政相談(13:00~16:00 玉米会館)
24	東光苑文化祭(10:00~)
24	東由利音楽祭(13:00~ 東中体育館)

今月は、町県民税3期、固定資産税3期の納期です。

東由利

郷土の野草

No.104



ヤブレガサ

(キク科)

文・写真 小松忠正

本州以南の各地、朝鮮にも分布する多年草で、半日陰の林中に多く見られます。写真は八月に撮影したのですが、この草の見ごたえは芽が出て間もない頃で、弱々しくて、頼りなくて、ひょうきんな破れた傘のような姿が何ともいえない可憐さを覚え、そっと手をそえてやりたい気持ちになります。夏一畝位に成長し、掌状に深く裂けた葉も35~45センチになります。九月ごろ茎梢に多数の白色の頭上花をつけます。総苞は微紅色または白紫色を帯びることがあります。

お誕生おめでとう

伊東友樹ちゃん(京子) 長男・横渡

ご結婚おめでとう

阿部 勝 幸さん
小野 美 香さん
横 渡
上 里

ごめい福をお祈りいたします

遠藤サキエさん(89寅 雄・母)下 吹
石綿王子雄さん(81・フ ミ・夫)大 琴
柳野 チヨさん(80忠 義・母)下小路

戸籍の窓口

(8/21~9/20届出)

私の好きな風景

紅葉



今年も、去年のようなきれいな紅葉が見たいですね。
(撮影・佐藤達男さん、下通)

まごころ

町社会福祉協議会に、小松仁さん(大台)、遠藤寅雄さん(下吹)から、東光苑に伊東知也さん(蔵)からそれぞれご芳志が届けられました。

また、広報送付の謝礼として小笠原諒治さん(本荘市在住、土場沢出身)、菊地主介さん(秋田市在住、山崎出身)から金一封が届けられました。

ほっといっき

ある懇親会の席上で「蛙を苦しめないで殺す方法知ってるかい」との質問。なんだろうな?と考えていると「蛙を苦しめない程度に水の温度を上げていくと、知らないうちに死んでいるんだよ」との事。これを、「ゆでごろし」と言うそうです。人間の世界でも、会社の「楽な水」になじんでしまえば、知らないうちに残り残されているのかも知れません。きっとこの人は「今の仕事に満足しないで挑戦しなさい」と言っているのだろうな。

「よし、頑張るか」と思った広報係でした。